

無垢材 (オイル仕上げ) のお手入れ方法

木そのものの風合いが楽しめ、使い込むほどに味わいが増す
無垢集成材で製作&オイル塗装で仕上げた家具。
ながく美しくご愛用いただくため、ご家庭で出来る簡単なお手入れ方法をご紹介します。

ご用意いただくもの

- ・蜜蝋ワックス
- ・ウエス(木綿)
- ・あて木
- ・ポリエチレン手袋 ※オイル使用時に気になる方のみ。
- ・サンドペーパー ※本書では150/240/320番を使用。

ビニールシートを敷いて作業するとより安心です！



0

モデルを務めるのは、約5年間大阪ショールームで展示されていたローサイドテーブル。普段使っていないものの、細かいキズ、シミ、日焼け、表面のかさつきが気になってきました。



1

表面の埃を取り払い、まずはあて木に数字の小さい(目の粗い)サンドペーパーをあて、縦横まんべんなく薄く削っていきます。こちらは150番のサンドペーパーを使用。

あて木は持ちやすいサイズのものであれば何でも構いません。



2

次に240番のサンドペーパーで、同様に薄く削ります。時折表面に触れて、かさつき具合や元あったキズの状態など、確認しながら削りましょう！

仕上げに目の細かい320のサンドペーパーを薄くかけると、触り心地がだいぶ滑らかになりますよ。



3

一通り削り終わったら、固く絞った濡れタオルで表面の木屑を取り除き、表面が完全に乾燥するまで待ちましょう。
(約20～30分)



4

オイルには色々種類がありますが、今回は蜜蝋ワックスを使用します。木材への浸透率が高く、自然塗料なので体にやさしく、さらにほんのり甘くていい匂いがします。
まずは少量をウエスに取ります。



5

木目に沿って伸ばしていきます。
オイルは少しずつウエスに補充しながら伸ばしてください。
塗り終わったら乾かして、これでお手入れ完了です!



AFTER

BEFORE

6

こちらがお手入れをしてから2日経過したものです。
写真では伝わりにくいですが、細かいキズや汚れが目立たなくなり、触り心地が滑らかになりました。

ご注意点

※ 無垢材には保湿効果があります。その一方で湿度が高ければ膨張し「反り」、低ければ収縮し「割れ」が起こる可能性もございます。湿度や温度の変化が大きな場所では、取り扱いに十分ご注意ください。

※ 水拭きをすると水分の蒸発時に木の繊維が持ち上がり、表面にかさつきが生じる可能性がございます。なるべく乾拭きにてお手入れくださいませ。